

ロータリー：
変化をもたらす

例会日 ■ 平成 30 年 1 月 18 日(木) 会場 ■ 割烹八文字屋 開会点鐘 ■ 12:30 2017-18 年度 VOL 26

三春 RC テーマ:「ロータリーを広めよう！」

Contents: 会員卓話

【例 会】 司会:橋本紀子 SAA	5. 幹事報告	【プログラム】
1.開会点鐘	6. 各委員会報告	会員卓話
2.ロータリーソング「奉仕の理想」		橋本紀子さん、橋本国春さん
3.四つのテストの唱和		増子博保さん
4.会長挨拶		閉会点鐘

会 長 挨拶



皆さん、こんにちは。先週の例会では『職業奉仕月間』プログラムとして渡邊宏二さんから卓話を頂きました。『ロータリーの樹』の話しにより職業奉仕をよく理解することが出来ました。

私達一人一人の『ロータリーの樹』が集まって林となり、地域社会に『ロータリーの森』が広がるよう取り組んでいきたいと思えます。

今月は『職業奉仕月間』ということですので、私事ですが仕事に関したことを少しお話しします。

家づくりでは沢山のお客様とお会いする機会がありましたが、今までで一番最短で建築申し込みを頂いた方は…、いったいどれくらいの時間だったと思われませんか？

なんと 2 時間です。その方は奥様となられる

婚約者から、どうしても見たい家があるということで弊社のモデルハウスに来られました。まだ婚約中でもあり家づくりなど全く考えてなく、しぶしぶ東京から新幹線で来たそうでしたが、モデルハウスを見るなり一目ぼれ。ナント家を建てると即決。これにはさすがに誘った奥様の方が驚いておられました。

その逆に初めてお会いした時から建築申し込みまで最も長かった方でどのくらいだと思われませんか？2年でした。

それでは、お一人の方に提案したプランの数で一番多かった方で何プランぐらいだと思われませんか？大体、3～4プランぐらいに詰まっていこうです。

一番多かった方は20プランを超えました。打ち合わせ度に希望が変わり、その都度、プランをご提案しました。最後は『これは修行だな！』と思いながらプランを作りました。

家づくりでは沢山のお客様とお会いしてきました。同じ仕事が二つと無く大変な面もありますが、常に新しいお客様との出会いがある楽しい仕事だと思います。

さて、来週の例会は会員卓話となっていました。理事役員会においてクラブ協議会に変更す

ることになりました。年度後半のスタートにあたり各委員会より報告を頂きながら後半の活動について確認していきたいと思ひます。来週は年次計画書をご持参ください。

以上、会長挨拶を終わります。



幹事報告

1. 1月25日(木)の例会は、クラブ協議会をおこないます。
来週25日の例会は、クラブ協議会とし各委員会の進捗状況の報告などをおこないます。
2. 第27回 三春ロータリークラブ杯 フットサル大会
日時：平成30年2月4日(日)
場所：三春町民体育館(貝山)
集合時間：午前8:00
成績発表・表彰：午後3:30～(予定)
※出席される方は三春ロータリージャンパーを着用ください。
3. 全国高校選抜 柔道錬成三春大会がおこなわれます。
日時：平成30年2月10日(土)・11日(日)
場所：三春町民体育館(貝山)



各委員会報告

なし

本日のプログラム

◇会員卓話

橋本紀子さん お正月の伝統料理について
みなさんこんにちは。

今年のお正月は成人式の連休も続いて長い休みとなりましたが如何お暮しでしたか どんなお正月料理を召し上がっていましたかここで質問です。“大みそかに年越しそばをたべた方”？手を挙げてください。

元日にお雑煮を食べた方は？次に3日とろろを食べた方は？最後に七草がゆを食べた方は？



ロータリアンの皆さんは結構食べられていますね。

少なくとも今から5、60年前の各家庭では沢山の方が食べられていたと思います

我が家では、と言っても私一人ですがちゃんと食べています。結婚したそれぞれの娘たちの家庭ではどうなのかは分かりませんが、子供の頃はちゃんと食べさせていたので、少しは実行しているのかなと、思います。日本には年末からお正月に掛けて、伝統的な料理が有ります。日本国中共通しているものも有りますが、多少は地方によって違いがあります。当然その土地の産物によって、材料も味付けも変わってきます。福島県の場合は浜通りと会津地方は、はっきり漁村と農村と分かれています。中通りになると少しづつ両方の影響を受けているところがあります。

田村地方は阿武隈山系の山間部に属していて、昔はなかなか厳しい生活を強いられていたようです。“正月様はいいもんだ、雪のようなまま（飯）食って、木っ葉のようなとと（魚）たべて”と昔唄われていたそうです。普段は麦とか大根とか、芋などかて飯でくらしているけれど、お正月は白米を焚いてそして木の葉のような形をした鮭の切り身を焼いて食べるのは最高のご馳走だったのでしょう。今日の例会の昼食はそんな年越し膳をちょっとアレンジして準備致しました。

如何でしたか？

そして、除夜の鐘と、ともに食べられるのが年越しそばです。そばは細くて長くて寿命や身代が伸びますようにとの願いが込められています。が最近そばには血管を丈夫にして細胞を酸化からまもるルチンという成分が含まれビタミンB類も多く疲労回復にも役たつそうですから、理に叶った食べ物と言えそうです。そして年越しそばを食べてお互い明けましておめでとうと言いながら床に入り、朝早くに起きて初日の出を拝みます。その家の長が若水を汲み神棚にお供えます。

昔はすべて井戸水だったので若水という意味にも納得できますよね。

その若水で立てたお茶を飲むと水の霊力により、年を取らないと伝えられてきました。不老長寿の為には水は欠かせず人体の半分以上は水と言われているが、年を取るにつれて体内の水分は低下して組織が乾燥してしまいます。健康に良い水を沢山飲みましょう。

さて、お正月3日食べるのがお雑煮です。お正月のお雑煮は全国でいろいろな種類があっぴゃくりするくらいです。丸餅、角餅、焼いた物から大福のようなもの、白味噌仕立て、しょうゆ味、塩味、その地方の産物が入ったもの、いわれのある物等、バラエティーに富んでいます。田村地方のお雑煮は年神様にお供えした、大根、里芋、ゴボウ、人参等、根菜類を具材にします。そして、各家庭によりスルメや雉、山鳥、鶏肉、煮干し等を入れるところも有ります。特に里芋はお雑煮にはかかせません。里芋は縄文時代からの食材であり、餅は弥生時代から食べられてきた貴重な食材でこの2大食材が用いられている雑煮は本当に伝統料理そのものと言えます。

そしてお供えした野菜を用いてもう一つの正月料理ザクザクを作ります。野菜の煮物です。凍み豆腐や油揚げを入れたり、秋に収穫して塩漬けにしておいたきのこを入れたりします。私が姑に言われた事はザクザクには砂糖を入れてはいけないという事でした。が、私は味がイマイチと砂糖を入れて我が家の味にしてしまいました。年の暮れにお雑煮とザク煮を大量に作っておきます。正月3日間はこれを食べます。普段忙しい農村の女の人達に台所に立たせずゆっくり体を休めるようにとの心遣いがあったそうです

おせち料理として何段重等といわれいろいろな料理がありますが、その中でも昔から田村地方では3つのお正月祝い肴として黒豆、数の子、ごまめが上げられます。

黒豆—黒は魔除けの色、豆で達者での意味

数の子—子孫繁栄、若返りのビタミンEがたっぷり

ごまめ—田作りのこと。カルシウムとたんぱく質の宝庫です。

最近ではご家庭の家族構成により、ハンバーグ、エビフライ、カニ等と色々召し上がられるでしょ

うが、せめてこの3品位はお正月料理として子供さんや孫さん達にもお教えて食べ継いで頂きたい
と思います。

そして、いよいよ3日とろろはお正月3日目に長寿や健康を祈願してとろろ汁を食べるお正月
行事です。とろろには整腸作用や滋養強壯の働きがあり、おせち料理やお酒、夜更かしで疲れた体や
胃を優しくいたわってくれる効果があります。この風習は主に東北であるようで、関東ではないよ
うです。

そして最後は1月7日に食べる行事では七草がゆです。七草がゆの風習は全国的にあるようです。
この風習に関しては歴史も深く、諸説が沢山有るようです。平安時代に中国の唐から伝来したと言
われています。春の七草はセリ、ナズナ、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろの
7種で鎌倉時代に定番になったようです。江戸時代になると庶民の間でも食べられるようになりま
した。昨今は、お正月頃に採れる野菜、青菜、セリ、大根、カブ等でおかゆを作って食べられないで
います。中国から渡って来た古くからの言い伝えのあるこの伝統食を是非繋いで行きたいものです。
以上、このお正月の料理についての歴史や由来等を調べたらとても奥が深く面白く興味がわいてき
ます。昔は食材の成分とか、効能などを、調べる手立てもないのに、ちゃんと、その食材の効能を認
識して行事に見合った料理を食べ継がれてきた先人たちの知恵に感心します。

今日は昔から田村地方で食べられているお正月料理についてお話しました。是非この郷土の伝統
料理の風習がこれからも続くようにしたいなと思いました。

ご清聴有難うございました。

会員卓話：橋本国春さん



今月は職業奉仕月間。数あるロータリークラブの奉仕活動の根幹です。
先週の月間プログラムの講話にもありましたようにロータリー奉仕活
動の基本と言われています。そのことを耳にする度にぞっとします。
私などは会員になれないのではと。

ロータリー会員は事業家・実業家で、立派な経営者となると特定の
人しか入会できない。この考えだけで進むと、会員は先細りでは。
社会に奉仕する考えがあれば良いのではとも思います。

なぜ、一次産業従事者・農業経営者は会員にいないのかな。農業者の大半が家族経営で、小規模。
今までは、経営者と言える人はあまりいなかった。アメリカ等は農場経営者。農場の取得から始ま
り日本の家督・農地の相続と違っている。農業従事者は年々減少気味。三春町を見ても約4割近く
は農地しかし未利用農地が増加傾向。

最近、寿命が延びていることから、年金支給開始年齢を70歳もありでは。と言われている。こう
言う時こそ農業を見直しては、農業経営まで行かなくとも趣味の農業を始めては。安心で安全な食
べを提供しましょう。まずは、ロータリー会員に農業経営者を考えたいです。

話は全く違いますがもう一つは、三春の梅・桃・桜についてです。

三春町について調べられている最も古いもので、延元4年西暦1339年。今から679年前「御
春」と、その数年後「三春」になったと言われています。歴民のホームページから。

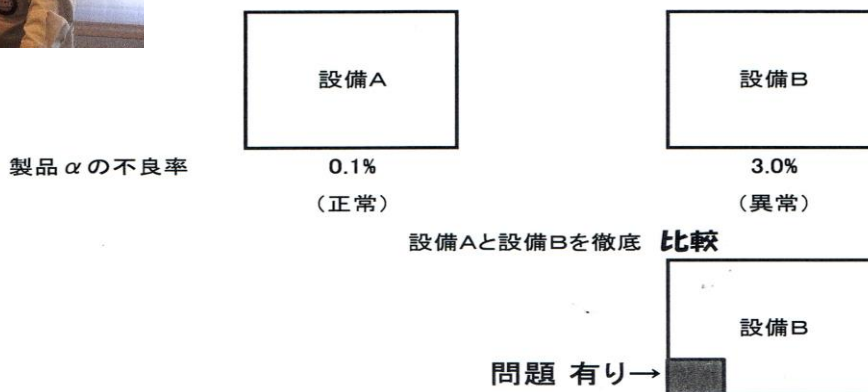
昭和30年の町村合併後の昭和33年の町広報に、梅、桃、桜が同時に春を競う三春。昭和51年
には、三春の春は、梅、桃、桜が一度に花を開くので。と書かれていますが、詳しくは不明です。昭
和52年には草野心平さんの滝桜の歌碑でも、梅桃桜の文言を使っています。

良く分かりませんが、三春の春は、「梅、桃、桜」の花が一時咲き競うと言うことで

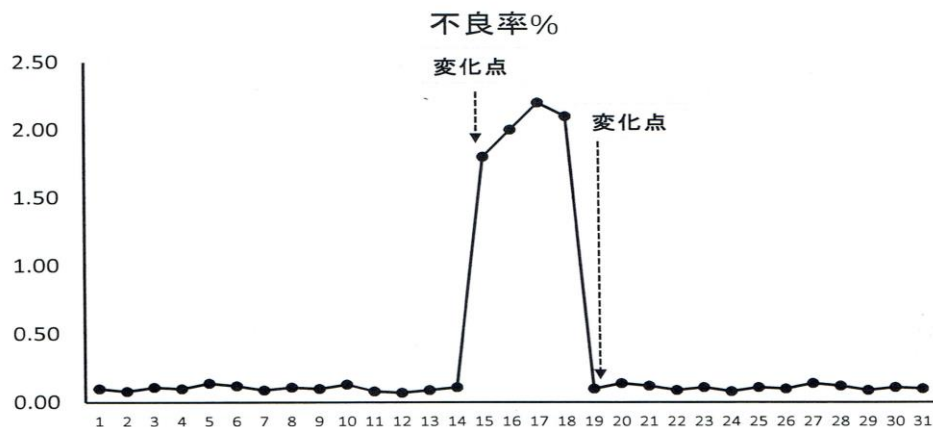
2018.1.18
増子 博保



三春RC 会員卓話
「問題を発見する為のキーワード → 比較」



2.



時系列でデータを取る → 前日との比較、日々の比較

閉会点鐘

		国際ロータリー第2530地区 三春ロータリークラブ		ロータリー：変化をもたらす	
		TEL	FAX	E-mail	
例会場	割烹文字屋	三春町字大町 18-1	62-5757	62-3174	hashimoto@8monjiya.jp
事務所	〒963-7759	三春町八島台 5-3-9	62-2334	62-2334	rcmiharu@gmail.com
会長	影山 吉則	三春町桜ヶ丘 3-1-3	62-3018	62-3110	y.kageyama@watadengumi.co.jp
幹事	山口 晋司	三春町字中町 51-1	62-4038	62-4038	shinji@polsys-inc.com
会報	渡邊 宏二	三春町字荒町 60	62-2410	62-2410	yamadai@orange.plala.or.jp